

みむろ

第147号

千種小学校

R7.7.15

「ひまわりの精神」で

学校長 上山昌秀



今年は、観測史上初めてという異例の早さで梅雨が明け、夏の間の水不足を心配しています。保護者・地域の皆様には、日頃から子どもたちへの温かい見守りや応援をいただいておりますこと、心から感謝申し上げます。さて、今年もひまわりの種を植えました。私は、子どもの頃からひまわりが大好きです。ひまわりを見てみると、なんとなく元気をもらえる感じがするのです。

もう十五年ほど前の話になりますが、中国は西安市のとある小学校に視察に行ったことがあります。その小学校は、めざす校風とひまわりとを重ね合わせていて、校章もひまわりの花がデザインされていました。「ひまわり」は、

○ 身体がまっすぐ立っている

○ 正直・向上という意味を表しています。

○ 太陽に向かっている

○ 明るい性格を表しています。

○ 花びらが団結している

○ 愛する心・温かい心・団結する心・協力する精神を表しています。

○ 成熟すると頭を下げる

○ 謙遜・謙虚・感謝の心を表しています。

○ 種が風雨に対して丈夫である

○ 種が風雨に対して丈夫である

↓ 勇気・勇敢の精神を表しています。
そして、視察団へのあいさつの中で「私たちは、友好・向上・団結の精神を、ひまわりの種と同じように育てていきます。」とその小学校の教頭先生が、堂々と話されたことが印象的でした。

象的でした。このことで私は、より一層ひまわりのことが好きになりました。そして、「ひまわりの精神（こころ）」と勝手に銘を打って、その後の教育活動に生かしていくようになりしました。また、当時は、部活動の指導をしており、毎年毎年懸命にチームづくりをしていましたが、よく「大きな花を咲かせよう（念（おも）いという種をまき 信じるという水をやる やがて希望という芽が伸びて夢という花が咲く」と、部員たちを励ましていました。そんなこともあり、部員たちを「ひまわり軍団」と鼓舞し、大会ではベンチにひまわりの花を飾り（造花でしたが）、心をひとつに相手に立ち向かっていました。

今年も、ひまわりのシーズンとなり、校長室からも子どもたちが育てているひまわりが見えます。千種小の子どもたちに、そんな「ひまわりの精神」をもちあわせた人に育ってほしいと願いながら眺めています。

いよいよ、今月十八日（金）には一学期の終業式を迎え、四十四日間の夏休みに入ります。この夏休みは、「体験を大切に」して欲しいと思います。自然とのふれあい・人とのふれあい・そして地域とのふれあいを大切に、安全で楽しくそして有意義な夏休みにして欲しいです。保護者、地域の皆様、この夏休み期間中も、子どもたちへの温かい見守り・励ましをどうぞよろしくお願い致します。この夏も酷暑となる見込みです。どうぞ、ご自愛くださいませ。

夏休みを迎えるにあたって

生活指導担当 川上 恵里

先日、下校の様子を見に行くと、自分の家を通り過ぎた千種高校生が自転車を押しながら、一緒に帰ってくれていました。「暑いから、お茶のモカ。」とか「もう少しや、がんばれ。」と声をかけてくれています。また、先日は、下校途中におなか痛くなり、慌てて黄色い旗がかけてある「子ども一〇番の家」に駆け込み、トイレを借りた児童がいたそうです。これは、学校に届いている一例ですが、他にも地域の方にお世話になった場面はたくさんあると思います。朝の登下校の見守りを始め、多くの地域の方々に見守られながら、安全に一学期の登下校ができています。ありがたうございました。

さて、本年度も六月の一週間、保護者の皆様のご協力をいただきながら、「生活学習習慣調べ」を行いました。

本年度は、昨年度のユースサミット（生活調べの結果を小・中・高校の代表児童が話し合い重点的に取り組む目標を設定する会議）において決められた「メディアコントロール」が重点的目標となっています。「小学生は、メディアの使用を一日二時間以内にしよう」という目標を子どもたちが話し合い設定しました。その目標を達成できるように、取組を進めております。先日は、一般社団法人ソーシャルメディア研究会に所属する大学生を講師にお招きし、高学年を対象にネットやスマホの安全な使い方について学習をしました。秋のオープンスクールでは、PTA主催の教育講演会でも情報モラルについての講演会を予定しております。このようにメディアとの付き合い方について学習を進めています。なかなか「メディアコントロール一日二時間以内」という目標を達成するのは難しい状況となっています。また、「生活学習習慣調べ」の集計の途中ではありますが、メディアから離れた時間を手伝いや自主学習、家庭読書に使うところまでは至っていないようです。

あと少しで子どもたちが楽しみにしている夏休みが始まります。この暑さや社会を取り巻く状況を考えると、子どもたちが家の中で過ごす時間が多くなると考えられます。家で過ごす時間が多くなると、メディアと過ごす時間も長くなってしまいます。夏休み中には、「手伝い」「自主学習」「読書」「地域との交流」をちよっとだけでも意識して生活を送れるよう、ご協力をお願いいたします。

七月の行事予定

十五日（火）給食最終日

十八日（金）一学期終業式

十九日（土）夏季休業日

（八月三日まで）

二二日（火）個別面談一日目

二三日（水）個別面談二日目

八月の行事予定

三日（日）小中合同PTAリサイクル活動

十一日（月）山の日

十三日（水）十五日（金）学校閉鎖日

二十四日（日）PTA奉仕作業

九月の行事予定

一日（月）二学期始業式 口座振替日

三日（水）給食開始 身体測定

見守り隊の皆様の

おかげです

朝早くから子どもたちを見守ってくださりありがとうございます。お陰様で、児童は本年度も安全に登校することができています。



あさがおがおきくなったよ
一ねん

あさがおのつるがのびたよ。まえよりもせいちよしてゐたから、つぎは、どんなことがおこるのかたのしみだな。あさがおのつぼみがでていたから、びっくりしたよ。はっぱがおおきくなっていたからびっくりしたよ。



けんけいおんがくたいのみなさんへ
二年

すてきな歌をおどったり、えんそうしたりしてくれて、ありがとうございます。

ぼくが一ばんすきだったのは、「YMCA」でした。おどりがすくて、かっこよかったです。

ほかの歌もよかったので、また来てほしいです。

けんけいおんがくたい
二年



けんけいおんがくたいのみなさん、たのしいおんがくをありがとうございます。

いろいろながつきをきくの中で見られました。一ばんすきなきくは、「はい、よろこんで」です。すてきなダンスパフォーマンスもあり、たのしかったです。

また、ミセスグリーンアップルのきくが二きくもあって、うれしかったです。

知らないきくもあったけど、ぜんぶたのしかったので、また来てほしいです。



けんけいおんがくたいのみなさんへ
二年

いろいろなきくをえんそうしてくれて、ありがとうございます。

とくに一ばんすきだったのは、「かわいいたけじやだめですか」です。知っているきくで、とてもたのしかったです。

えんそうがかっこよかったので、また来てほしいです。



三年生では、国語科で「きょうみのある仕事」について図書館を利用し調べました。

うちゅうひこうしの仕事
三年

ぼくのしょうらいのゆめは、うちゅうひこうしです。人数が少ないけれど、みんなのあこがれの仕事です。うちゅうをたんけんすることがぼくのもくひょうです。

うちゅうひこうしは、げんざい世界で四百五十人、そのうち八人が日本人だそうです。

うちゅうひこうしは、たいへんきびしいくんれんを受けても命を落とすかもしれないきつな仕事です。日本は、おうべいやロシアよりうちゅう開発のけんきゅうがおくれたため、

うちゅうひこうしの人数が少ないそうです。子どものうちからする、うちゅうひこうしになるためのじゅんびが書いてありました。

それは、心と体をきたえて、何かに負けない自分のとくいな分野を見つけることだそうです。

きけんだけれど、ぼくはこの仕事をしてみたいと思いました。うちゅうにはまだときあかされてないぞやひみつが多くあります。

だからぼくは、うちゅうひこうしになってなぞやひみつを自分の目でたしかめてみたいのです。



七夕集会
四年

七月の三日に、七夕集会がありました。私は、四年生が七夕集会をやっていたのを初めて知りました。

七夕集会のじゅんびでは、いしゅうを作りました。いしゅうを作る時に、ひこぼしの服を「どうしようかな」ってなやんでいたけど、

ももかちゃんの手伝ってくれたおかげで、ひこぼしのいしゅうがうまくできました。他にも、

おり紙で風船を作る時に二百三十一こも作らないといけなかったけど、みんな協力したらたくさん風船ができてうれしかったです。

セリフを決める時に本当はお姫が良かったけど、ひこぼしにしました。理由はひこぼし役をやってみたかったからです。

こぼし役をやってみたかったからです。本番前には少しドキドキしました。願い玉をかごに入れる時に、すわって投げ入れるのかなと思っていたけど、走って追いかけるなら入れるんだと知り、びっくりしました。けど、みんな上手に願い玉をかごに入れて楽しそうでした。そんな時、校長先生がまだ、願い玉を入れてなかったの、校長先生の周りを回って入れてもらいました。周り終わった後の自分のセリフは少しきんちようしました。だけど、うまく言えたので、うれしかったです。

もし、また発表があったらセリフを上手に言いたいと思います。

ずっときいていたい県けい音楽隊
五年

わたしは、県けい音楽隊のえんそうをとて楽しみにしていました。知っている曲がたくさんあったけど、その中でもミセスグリーンアップルの「青と夏」がとてよかったです。きれいな音でリズムがよくて、きいてると楽しい気持ちになるからです。他にも「三百六十五歩のマーチ」やダンスなどがありました。ダンスでは、にじ色の旗を持って、美しくおどっていたの、すごいなと思いました。

県けい音楽隊のみなさんは、演そうしているときでもずっと笑顔でした。演そうしているところを見たり、きいたりしているだけなのに、みなさんの笑顔でわたしまで笑顔になったり、

うれしい気持ちになりました。まわりの友達も手をたたいたり、笑顔になっていたりの、それともうれしかったです。

もっと聞いていたかったけど、あつという間に時間が来てしまつて悲しかったです。

わたしもこれからみんなを笑顔にしたり、元気にしたりできるような人になりたいと思いました。

来年もまた県けい音楽隊のみなさんに会えるのを楽しみにしています。また、笑顔や元気をもらいたいです。

一学期を振り返って
六年

もうすぐ六年生の一学期が終わろうとしています。

六年生になって登校班や委員会のリーダーになりました。私は、五年生のときまで「ちゃんと自分ができるかな」とか「自分はみんなの前に堂々と立てるかな」などと思っていました。最初のころは、登校班は、後ろにいる一年生のことを考えながら歩かないといけないので「ちゃんと追いついているかな」とか思っていて学校に着くのがおそいときがありました。けど、最近は、後ろにいる子も考えながらおそくならないように歩けるようになりました。

ファミリー班でも「前の六年生がしてたことを一人でできるのだろうか」などと思っていました。困ったりするときもあるけど自分ではちゃんとできていると思います。

クラブでは四年生のときにしていた「手芸」にしました。理由は、私は、縫って物を作るのが好きだからです。このクラブに入った四・五年生も楽しいと言ってくれたので、うれしかったです。

私が一学期で一番印象に残っているのは、一年生かんげい会です。理由は、司会や始めの言葉などの役割で台詞を言わなければならない人が、がんばって練習をして一から五年生みんなが「楽しかった。」と言ってくれたからです。

自分は、一年生のインタビューで少し失敗してしまつたなというときがありました。けれどその後のゲーム大会でみんなが楽しそうにしていたのでうれしかったです。

学習では、社会での歴史の勉強が増えました。縄文時代から古墳時代のことを勉強をして約一万三千年間、何があったかを覚えしました。これから先もいろいろな人物や歴史を勉強するので頑張りたいです。他の授業も一学期最後の単元に入つたので頑張ろうと思います。

二学期もリーダーとしての仕事や学習を頑張りたいです。